



国民健康保険加入者の皆さん、 特定健診を受けましょう！

近年、糖尿病などの生活習慣病にかかる人が増えています。

生活習慣病は、痛みなどの自覚症状がないまま発症・進行していくため、放置し重症化すると心筋梗塞や脳卒中になる危険が高くなります。

生活習慣病予防・生活習慣の改善のため、年に1度の特定健康診査を受診しましょう。

受診方法

◆日野病院で受診する場合

- ・日野病院（電話 72 - 0351）に、電話で直接お申し込みください。
- ・受診できるのは、5月～12月までの水曜日と金曜日の午後です。

◆開発センター・町公民館で行う集団健診を受診する場合

- ・予約・申込みは必要ありません。
- ・対象者には、受診券と一緒に日程表を送っていますのでご確認ください。

持参するもの

- ・必ず『受診券』と『保険証』を持参してください。
- ・『問診票』は事前に記入して持参してください。

基本チェックリスト回収のお願い

65歳以上のすべての人（介護保険認定者は除く）に、生活機能に関する聞き取り調査『基本チェックリスト』を提出していただきます。

この調査は、介護予防に関する心身の状況を知るための大切なものです。普段の生活の様子について記入してください。記入した調査票は、町が実施する集団健診会場に持参してください。

※受診しない人は、集団健診会場または町健康福祉センター、役場黒坂支所に提出してください。

自己負担金

- ・国民健康保険加入者は、一律500円です。

国民健康保険に加入していない人

国民健康保険以外に加入している人が特定健康診査を受診する場合でも、『受診券』と『保険証』が必要です。受診券は役場ではなく、加入先の医療保険者が発行しますので、詳しくは医療保険者へ問い合わせてください。

後期高齢者医療保険に加入している人

対象者には、町から受診券などを郵送しています。受診する際は「受診券」「保険証」「問診票」「基本チェックリスト」を忘れず持参してください。

無料で

国民健康保険の特定健診に**クレアチニン・尿酸・貧血検査**が追加されました！



クレアチニンとは、慢性腎臓病を早期に発見するための大切な検査です。慢性腎臓病は重症化すると、透析や脳卒中、心不全などの重篤な病気を引き起こします。ぜひ、この機会に検査しましょう。



がん検診を受けましょう！

皆さん、お近くの会場にお越してください。

	対象者	検査項目	自己負担金
肺がん検診	40 歳以上 (S49. 4. 1 生まれ以前)	胸部レントゲン	100 円
		喀痰検査	200 円
胃がん検診		バリウム検査(胃エックス線撮影)	400 円
大腸がん検診		便潜血反応検査(2日法)	100 円

▶集団検診を受診しない人は、受診票裏面の未受診理由を選び、町健康福祉センターまで提出してください。

- 《受付時間》 ◆胃がん検診 : 午前 8 時～午前 9 時
◆大腸・肺がん検診: 午前 9 時～午前 10 時

実施日	会場	対象地区
6 月 6 日(木)	開発センター	根雨 1・2・3・4・5 区、三谷 1・2 区、貝原
6 月 7 日(金)	開発センター	根雨 6 区、野田、津地、安原
6 月 10 日(月)	町公民館	中菅中央、近江、畑、下上菅、中上菅、上上菅、井ノ原、諏訪、漆原、下福長
6 月 27 日(木)	開発センター	舟場、濁谷、門谷、秋縄、三土、上本郷、榎市、小原、別所
6 月 28 日(金)	町公民館	黒坂 3・4・5 区、久住、小河内、布瀬谷
7 月 1 日(月)	町公民館	黒坂 1・2 区、黒坂 6・7 区、下黒坂、根妻、下菅、中菅
7 月 10 日(水)	開発センター	下榎 1・2 区、高尾、後谷、金持、板井原、下本郷

- ▶肺がん・胃がん・大腸がん検診は、集団健診のみです。
▶子宮がん・乳がん検診の受診票は、8 月ごろ送付します。日野病院での子宮がん検診（個別検診）を希望する人は、町健康福祉センター（電話 72 - 1852）までお問い合わせください。

●大腸がん検診の日に都合がつかない人● 検診日以外でも検査容器を受け取ることができます

- 【期間】 6 月 6 日（木）～ 7 月 10 日（水）
※受け取りは平日のみで、時間は、午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分までです。
【場所】 町健康福祉センター（電話 72 - 1852）
※受け取りを希望する人は、事前に町健康福祉センターへ連絡してください。

保健師のひと言（今月から、がんを防ぐ新 12 か条を紹介します）

- がんを防ぐ新 12 か条**
第 1 条 タバコを吸わない
第 2 条 他人のタバコの煙をできるだけ避ける

タバコは肺がんだけでなく、咽喉や食道のがん、脳卒中など重篤な病気を引き起こします。また、吸っている本人だけでなく、周りにも健康被害を与えるので配慮が必要です。5 月 31 日は、世界禁煙デーです。これを機会に 1 日禁煙から取り組んでみましょう。

